

紫外線硬化形

抗ウイルス塗料

フォルシード

No. 560M-WA7



有機系・本体・分散
JP0612857X0003N

製品上の特定ウイルスの数を減少させます

SIAAマークはISO21702法により評価された結果に基づき、
抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開
された製品に表示されています。

！ 注意事項
抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
SIAAの安全性基準に適合しています



中国塗料株式会社

フォルシードNo. 560M-WA7 概要

このたび無加工品に比べ、製品表面に付着した特定のウイルスの数を減少させる効果をもつ、紫外線硬化形の抗ウイルス塗料『フォルシードNo. 560M-WA7』を開発しましたので、以下に説明します。

フォルシードNo. 560M-WA7 特長

- ☆ 抗ウイルス性
- ☆ ハードコート性
- ☆ 耐久性試験後も抗ウイルス性を維持

塗料概要

塗料タイプ	紫外線硬化形抗ウイルス性塗料
固形分	75%
比重(23℃)	1.12
粘度 (KU、25℃)	74
配合溶剤	酢酸ブチル、MEK

使用上の注意

- 1.冷暗所に保存してください。
- 2.直射日光を避けてください。
- 3.皮膚への付着は避けてください。
SDS および容器に表示の注意事項をよく読んで取扱下さい。

適用基材

直接塗装が可能な基材	易接着 PET フィルム ABS など
------------	------------------------

推奨塗装条件

上記の塗装条件検討試験の結果、推奨条件は下記の通りです。

塗装方法	バーコーターなど
塗装時固形分	30%
希釈溶剤	酢酸ブチルなど
推奨膜厚(ドライ)	3~5 μm
乾燥	80°C × 1 分
硬化条件	高圧水銀ランプ 300mJ/cm ² 以上

塗膜性能試験結果

1. 塗装仕様

基材	易接着 PET フィルム (東洋紡製 コスモシャイン A4300(100 μm))
塗装方法	バーコーター
希釈溶剤	酢酸ブチル
塗装時固形分	30%
希釈溶剤	酢酸ブチル
膜厚	4 μm
乾燥	80°C × 1 分
硬化条件	高圧水銀ランプ 300mJ/cm ²

2. 試験項目

試験項目	試験条件	結果
ヘイズ	ヘイズメーターNDH4000(日本電色工業製) における測定値。数値はフィルム込みの値。	65%
全光線透過率		91.7%
鉛筆硬度	JIS K5600	2H
耐湿性	50°C・95%RH × 72 時間	異常なし
耐温水性	40°C × 24 時間	異常なし
耐薬品性	耐酸性(5%酢酸水溶液) 25°Cで 1 時間浸漬	異常なし
	耐アルカリ性(1%炭酸ナトリウム) 25°C、1 時間浸漬	異常なし
	耐アルコール性(エタノール)25°C、1 時間	異常なし

3. 抗ウイルス性能

3-1. 抗ウイルス試験方法

抗ウイルス試験方法	ISO21702
未加工フィルム	フォルシード No.560M-WA7 抗ウイルス剤未添加品を使用
持続性試験区分	耐光性区分:1 (サンシャインウェザメーター 10 時間) 耐水性区分:0
試験ウイルス	ATCC VR-1679 ATCC-VR-782
試験機関	ニッセンケン品質評価センター

3-2. 抗ウイルス試験結果

試験前処理：なし(耐水性区分)					
検体		ATCC-VR1679		ATCC-VR782	
		ウイルス感染価 (PFU/cm ²) 常用対数平均値	抗ウイルス 活性値 (R)	ウイルス感染価 (PFU/cm ²) 常用対数平均値	抗ウイルス 活性値 (R)
未加工フィルム	接種直後 [U0]	5.94	-	5.66	-
	24時間放置後 [Ut]	4.59	-	5.44	-
抗ウイルス加工フィルム フォルシード No.560M-WA7	24時間放置後 [At]	0.80	3.8	2.86	2.6

表 1: 試験前処理なし (耐水性区分 0)後の抗ウイルス試験結果

※抗ウイルス活性値(R) = [Ut] - [At]

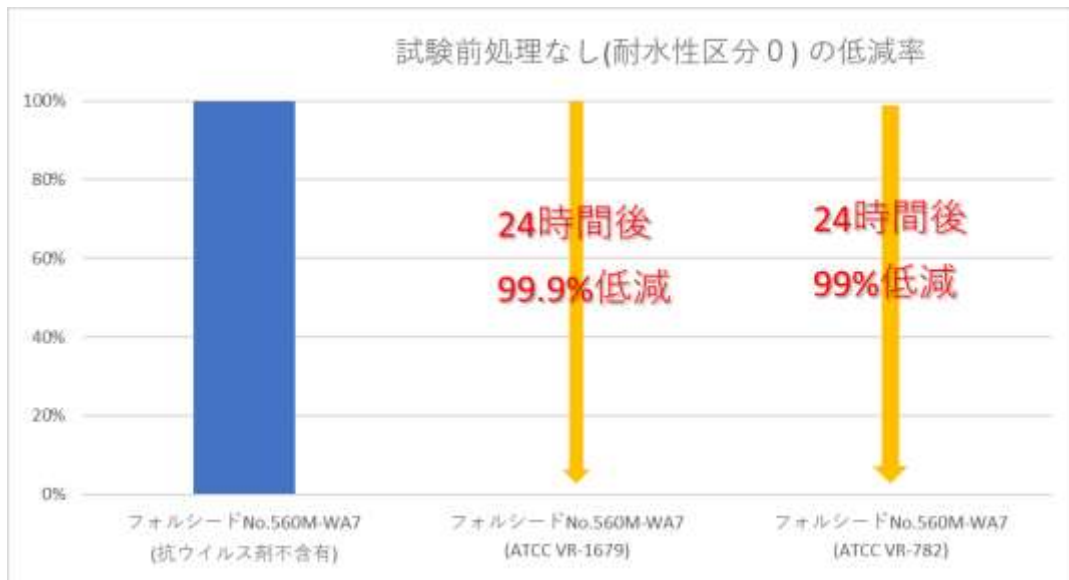


図 1: 試験前処理なし (耐水性区分 0)後の抗ウイルス試験結果のグラフ

表 2: 耐光性試験(区分 1)後の抗ウイルス試験結果

検体		ATCC-VR1679		ATCC-VR782	
		ウイルス感染価 (PFU/cm ²) 常用対数平均値	抗ウイルス 活性値 (R)	ウイルス感染価 (PFU/cm ²) 常用対数平均値	抗ウイルス 活性値 (R)
未加工フィルム	接種直後 [U0]	5.66	-	5.62	-
	24 時間放置後 [Ut]	4.00	-	5.39	-
抗ウイルス加工フィルム フォルシード No.560M-WA7	24 時間放置後 [At]	0.80	3.2	3.25	2.1

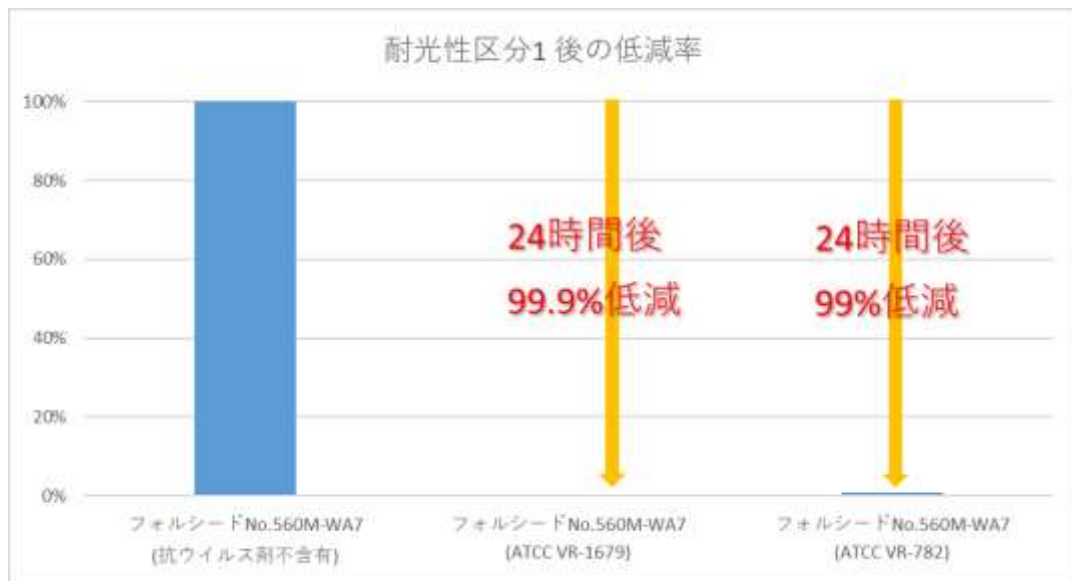


図 2: 耐光性区分 1 後の抗ウイルス試験結果のグラフ